

## 南無ちゃんのブログ 2015年1月

1月1日(木) 雪化粧の元旦.....	2
1月2日(金) 今年の抱負.....	2
1月3日(土) TRX-305A の開発環境を使う.....	3
1月4日(日) 初仕事.....	4
1月5日(月) 新バンドプランの恩恵.....	4
1月6日(火) 7QSOs with 1A0C.....	5
1月7日(水) TRX-305A で何を作るか?.....	6
1月8日(木) 桃栗三年と云うけれど.....	7
1月9日(金) LAN 経由で操作できるアンテナ切替スイッチ.....	7
1月10日(土) モズの「はやにえ」.....	8
1月11日(日) 寒い日は温泉.....	9
1月12日(月) 初クルージング.....	10
1月13日(火) アンテナスイッチ用リモコンの H/W 製作中.....	10
1月14日(水) IC-7700 が故障したかと思ったら.....	11
1月15日(木) アンテナスイッチ&ローテータ用リモコンが完成.....	11
1月16日(金) ピオーネの粗皮剥ぎ.....	12
1月17日(土) JT65 の運用における注意点.....	13
1月18日(日) 4バンド DXCC 達成 (^o^)/~~~.....	13
1月19日(月) 今日の DX ハンティング.....	14
1月20日(火) C5X DX ペディション.....	15
1月21日(水) 平日の日中でも物凄いパイルアップ (EP6T).....	16
1月22日(木) PLC と UDP/IP で通信するプログラム.....	17
1月24日(土) 今日から CQ WW 160m コンテスト.....	18
1月25日(日) 自家製のピーナッツ.....	19
1月26日(月) CQ WW 160m コンテストを終えて.....	19
1月27日(火) JRL-3000F をリバースエンジニアリング.....	20
1月28日(水) Serial Viewer の改良.....	21
1月29日(木) QSL カードを整理してみたら.....	22
1月30日(金) 5BAND DXCC & HONOR ROLL.....	23
1月31日(土) DXCC 消滅カントリーリスト.....	24

## 1月1日(木) 雪化粧の元旦

今年の元旦は寒い一日でした。一年の計は元旦にありと申しますが、景気が回復して、懐があつたかくなる一年だといいいですね。



今日も TRX-305A をいじって遊びました。ジャンクの中にあつた箱入りスピーカを接続すると、とても良い音になりました。AM ラジオの感度はあまりよくないですが、FM ラジオの感度は市販のラジオよりも良いと思います。

オープンソースということなので、付録 CD-ROM の中味を見ましたが、少し期待はずれでした。FPGA のソースは VHDL で記述されていて、こちらは OK なのですが、SH2 のソースはアセンブラで記述されていて、解読するのは大変です。また、Black Fin のソースは公開されておらず、まさしくブラックボックスです。

トラ技特集記事の筆者は、ブラックフィンのソースもそのうちに第三者がオープンソースコードを開発してくれるでしょう・・・みたいなことを書いておられました。いつになるのか待ち遠しいことですね。SourceForge.JP のそれらしきプロジェクトがあるようですが、活動しているのでしょうか???

## 1月2日(金) 今年の抱負

隠居の身なので、自分にノルマを課するようなことはしたくないのですが、一応、年頭にあたり、今年一年を如何に楽しく過ごすかという観点で計画を立ててみました。

### 1)ブドウの部

今年は実を着けて、農家らしく販売したいと思います。4年目で農業を黒字化する予定でしたが、多分、今年度での黒字化は無理だと思います。±0くらいを目指します。

### 2)鮎釣りの部

今年の夏はブドウの世話を優先したいと思いますので、鮎釣りは1週間に3日以下にしようと思います。サラリーマンよりも時間の融通は可能なので、ちゃっちゃと農作業を済ませて鮎釣りをエンジョイしたいと思います。

### 3)パラグライダーの部

今年こそは NP(Novice Pilot)を取得したいと思います。

### 4)無線の部

デジタルモードと24MHz帯での DXCC 達成を目指します。

## 1月3日(土) TRX-305Aの開発環境を使う

今日はパソコンに向かってSDRキット(TRX-305A)の開発環境をインストールしたり、ソースコードをコンパイルして遊びました。

TRX-305Aには、FPGAとしてALTERA社のCyclonIIIが使われているのですが、古いデバイスのためなのか、最新版のQuartusII(14.1)ではサポートされていませんでした。14.1は私のパソコン(Windows7 Professional 64bitOS)にインストールできたのですが、13.1はインストール中にエラーメッセージが出てしまいました。仕方なく、仮想環境(VMware Player)上のWindowsXP ProfessionalにQuartusII 11.1sp2をインストールしました。

この開発環境下でエラーなくコンパイルできることを確認しました。

また、SH2のソースコード(アセンブラ)からもエラーなくオブジェクトができることを確認しました。

その後、SH2のソースを眺めていたら、非公開のコマンドが15種類あることがわかりました。パラメータや使い方は、いまのところ不明です。リバースエンジニアリングは大変ですね。

今日は昨日までの厳寒とは打って変わり、晴れで風も無く比較的良い天気でした。午後から、ウォーキングを兼ねて近所の神社に初詣に出掛けました。道には未だ雪が残っていて、猿の足跡がくっきりと残っていました。



1A0C狙いで朝早起きしました。今朝は7MHzでアフリカが大変よく開けていました。3DA0NJ(スワジランド)とかZS(南アフリカ)の局が強力に入感していました。7時前になって1A0Cが10MHzのRTTYに出てきました。QSOしようと思ってMMvariを立ち上げましたが、解読できませんでした。IC7700とパソコンとは光ファイバで接続していますが、パソコン側のインターフェースが壊れたようです。仕方なく諦めて、家に戻って雑煮を食べてから、光ファイバで接続する代わりに、銅線で接続するように作業しました。

夕方5時前に1A0Cが14MHzのSSBに出てきました。ロングパスで強力に入感していましたが、今日は土曜日とあってヨーロッパの局も多数呼んでいて、殆どJAの局とはQSOしていませんでした。暫くすると、21MHzと24MHzのCWに出ているという情報がありましたが、24MHzではとても弱い信号でした。アンテナをロングパスにしたりショートパスにしたりグルグル回して、結局ロングパスにして何度もコールしていると、信号が上がってきて、やっと5時半頃QSOできました。その後で、28MHzのCWにも出ているという情報があったので、聞いてみましたがちっとも聞こえませんでした。呼んでいる局も沢山います。アンテナをショートパスに回すと、弱いながらも聞こえてきましたので、暫く呼んでQSO成立。これで、CWばかりですが、1A0Cと21・24・28MHzでQSOできました。1A0Cは、1月6日までQRVする予定なので、週明けになれば呼ぶ人も少なるでしょうから、RTTYやSSBでもQSOしたいものです。

## 1月4日(日) 初仕事

今朝も少し早起きして無線小屋に行ってワッチしましたが、特に成果はありませんでしたが、ARRL RTTY コンテストをやっているようだと気付きました。今年はデジタルモードを頑張るつもりなので、ルールを確認してN1MM ロガーの設定をしてコンテストに参加しました。

10時過ぎまで RTTY コンテストで遊びましたが、今日も天気が良いみたいだし、ずっと中でストーブのお守りばかりしていたので、少しは運動も必要ということで、ブドウ園に行って、落ち葉拾いをしました。

年が明けて、初めて何かをすると、「初xx」というようなので、今日の農作業は「初仕事」ですね。昼飯後も作業を続けましたが、2時頃になって雨が降り始めたので切り上げて家に戻りました。

## 1月5日(月) 新バンドプランの恩恵

今朝、少し寝坊して、7時頃に無線小屋に来て DXSCAPE を見ると、1A0C が 7MHz と 10MHz に QRV しているとのこと。早速聴いてみるとアンテナがロングパス方向に向いていたためか、10MHz の信号は弱くて聞き取れませんでした。ショートパスに回しましたが、辛うじて聞き取れる位でした。今日はコンディションが悪いのでしょうか？一昨日聞いた RTTY の信号よりもかなり弱いと感じました。暫くすると耳が慣れてきたのかコンディションが良くなったのか、信号が上がってきて何とか交信できました。

その後、7MHz を聴いてみると、これまた弱い信号でしたが、徐々に信号が上がってきて、10分程呼んでやっと交信できました。

朝飯をささっと済ませて、8時頃から ARRL RTTY コンテストに参加しました。途中で DXSCAPE に目を遣ると 4U1WB が 21.134MHz に出ているとのこと。呼びたいなあと思いましたが、バンドプランでは RTTY は 21.070MHz ~ 21.125MHz なので、オフバンドだよね・・・と思ったのですが、そういえば今日(1月5日)からバンドプランが変更されるということ思い出しました。呼ぶ局も少なく、すんなり QSO できました。(残念ながら 4U1WB は DXCC の独立したエンティティではなく、一 USA 局に過ぎません。)



こんなわけで、早速バンドプランが変更された恩恵を受けました。バンドプランは、総務省が「アマチュア業務に使用する電波の型式及び周波数の使用区別」を告示するまでは、いわゆる JARL の紳士協定だったので、法令違反とまでは言えませんでした。近頃はバンドプランを逸脱した運用をすると立派な法令違反です。



DXingの好きな人がJARLの理事として数多く選出されたことが、DXerにとっては嬉しい変更につながったのかもしれないね。

この他にも、デジタルモードを運用してDXingをする者にとって嬉しい変更点がいくつかあります。この変更によって、デジタルモードでDX局を呼ぶ時にバンドプランをそれほど気にしなくて良くなりそうです。

- 1)3,535kHzから3,575kHzまでの周波数は、外国のアマチュア局とのデータ通信にも使用することができる。
- 2)7,045kHzから7,100kHzまでの周波数は、外国のアマチュア局とのデータ通信にも使用することができる。
- 3)14,112kHzから14,150kHzまでの周波数は、外国のアマチュア局とのデータ通信にも使用することができる。
- 4)18,090kHzから18,100kHz及び18,110から18,120kHzまでの周波数は、外国のアマチュア局とのデータ通信にも使用することができる。
- 5)21,125kHzから21,150kHzまでの周波数は、外国のアマチュア局とのデータ通信にも使用することができる。
- 6)24,930kHzから24,940kHzまでの周波数は、外国のアマチュア局とのデータ通信にも使用することができる。
- 7)29.00MHzから29.30MHzまでの周波数は、外国のアマチュア局との占有周波数帯域幅が3kHz以下の電話・電信・画像・データ及びCWによる通信にも使用することができる。
- 8)28.150MHzから28,200MHzまでの周波数までは、外国のアマチュア局とのデータ通信にも使用することができる。
- 9)50.00MHzから50.10MHzまでの周波数は、外国のアマチュア局との占有周波数帯域幅が3kHz以下のデータ通信にも使用することができる。
- 10)51MHzから51.5MHzまでの周波数で外国のアマチュア局と通信を行う場合は、占有周波数3kHz以下の電話・電信・画像・データ及びCWによる通信にも使用することができる。

## 1月6日(火) 7QSOs with 1A0C

12月28日から始まった1A0CのDXペディションも、1月6日までということなので、間もなく終わりです。

今朝も早起きしてワッチしましたが、7MHzのSSBは信号が確認できませんでしたし、期待していた10MHzでのRTTYにはQRVしなかったようです。夕方も10MHz, 21MHzなどのCWにQRVしていましたが、RTTYの信号は聞こえませんでした。ひょっとしたら、明日朝ラストワンチャンスがあるかもしれません。

これまでのところ、7MHzから28MHzの各バンドでQSOできています。モード別ではCWとSSBではできましたが、RTTYはできていません。

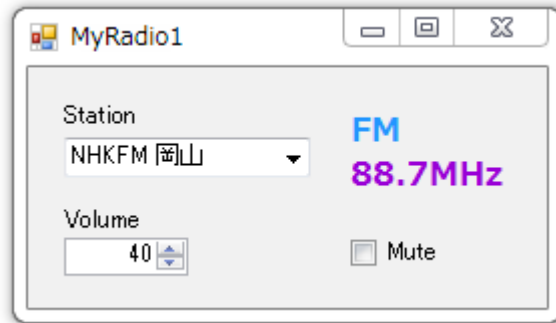
QSO of JH4ADK:

	70cm	2m	10	12	15	17	20	30	40	80	160
CW											
SSB											
RTTY											

CW: 6 SSB: 1 RTTY: 0 TOTAL: 7

## 1月7日(水) TRX-305A で何を作るか？

CQ 出版で販売している TRX-305A を、ラジオとして使うためのシンプルなコントロールパネルをホームページ(<http://www.namva.net/program/program.html>)で公開しました。Visual Basic 2010 Express (フリーソフト) で記述しています。



単純にラジオだと思いと高価過ぎです。何か他に使い途はないかと、あれこれ考えてみました。

### 1) 音声ピッチ変換器

昔流行った RF スピーチプロセッサのようなもの。SSB を使って送信周波数と受信周波数を微妙にずれせば、音声のピッチ (音程) を変えることができる。コンテストの時には高い声が有利ではないかと常々思っているのもので、武器になるかも・・・

### 2) 長波・中波トランシーバ

135kHz や 475kHz 帯のトランシーバとして使用できる筈。CW (A1A) なら、そのまま利用できるが、リニアアンプやアンテナが必要。特に、今年から開放される 475kHz 用送信機の市販品は無いと思うので価値あり？

### 3) 中継器

独立した送信機と受信機を備えているので、例えば、音声入力信号を 29MHz で送信して、53MHz で受信した信号を音声出力とすると、デュープレックスのリピータのような使い方ができる？ 無線を使うのは違法かもしれないが、同軸ケーブルで伝送するのは合法。でも、それだと面白くないかも・・・

### 4) 電波時計受信機

40kHz や 60 kHz の標準電波が受信できるか？

岡山は福島や佐賀から遠いし、どんなアンテナが適合するのでしょうか？

### 5) SWR 計

今使用している MFJ の SWR 計は周波数はデジタルで読取れますが、LC 発振器なので安定度が今一つだし、IC7700 などの RIG 内蔵型の SWR 計は読みが甘いので・・・でも、それなら単純な DDS で十分かも

## 1月8日(木) 桃栗三年と云うけれど・・・

「桃栗三年柿八年」と云いますが、私がブドウ園の脇に植えた桃が今年で三年目を迎えます。1月は剪定の時期でもあり、小枝が沢山出ているので、剪定しました。まだ蕾ですが、3月にもなれば花が咲くでしょう。咲いた花に受粉すれば、実が着くでしょうが、今年は実を付けるのは見送ろうと思います。今年はブドウの実を着けるのが先です。二兎を追うものは一兎を得ずと云いますからね。



今朝も雪がチラつく寒い日でしたので、薪ストーブにあたって暖をとりました。午後から晴れてきたので、運動を兼ねて、桃の剪定作業をしたり、ブドウの堆肥を入れるために掘った溝の残土をブドウの樹の近くにスコップで寄せる作業をしました。2時間程作業すると汗ばんできたので、今日の作業は終わりにしました。

## 1月9日(金) LAN 経由で操作できるアンテナ切替スイッチ

今年になってから、朝早め(6時頃)に起きて、ローバンドをワッチするようになりました。1A0CのDXペディションが終わってから、何故か、ローバンドのコンディションが良くなったような気がします。少しづつバンドニューを稼いでいます。

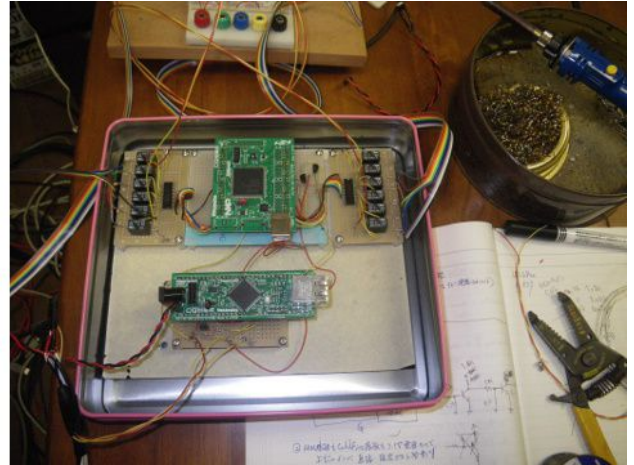
いきなり無線小屋に行くと寒いので、まずコタツトップのパソコンを起動して、LAN経由で無線機を遠隔操作してワッチして、呼びたいようなDXが出ていたら無線小屋に行くようにしています。

ビバレッジアンテナを3方向に張ろうと思っていますが、そうすると遠隔操作で切替えられるようにしたいものです。なので、LAN(Ethernet)に繋げてアンテナ切替スイッチを操作できるような装置を作っています。

ハードウェアは、CQ出版のインターフェースの付録のColdFireボードとARMボードを組合わせた構成です。昨年春に製作したColdFireで作った、ローテータをLAN経由で遠隔操作する装置を少し改造して、アンテナ切替スイッチの機能を付加します。

ARM側のファームウェアは、ほぼ完成したので、パソコン側アプリを作るために仮配線しました。

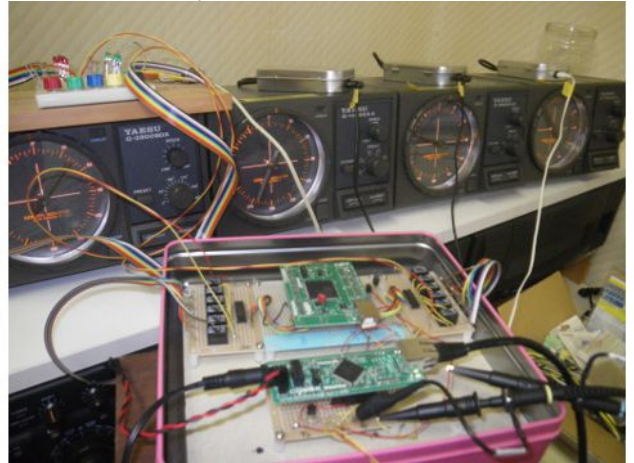




今日は、昼頃まで無線小屋で遠隔操作できるアンテナ切替スイッチを製作して、2時頃からブドウ園に行って、昨日同様に堆肥を埋めるために掘った溝の残土の処理をしました。今日の作業で残土の処理はおわりました。寒い日が続きますが、2時間くらい野良仕事をすると丁度良い運動になります。

## 1月10日(土) モズの「はやにえ」

午後からブドウ園の隣地の柴刈りをしていると、木の枝にバッタが刺さっているのを見つけました。あっ！これは、百舌鳥(モズ)の仕業だろうなと思いつつ、物珍しさもあって写真に収めました。夕方パソコンで調べてみると、モズの「はやにえ」というのだそうです。



今日も2時間ほど野良仕事をして、汗ばむ程度の運動になりました。

朝は無線小屋で薪ストーブで暖をとりながら、アンテナスイッチ用リモコンのパソコン側アプリのデバッグをしました。もうじき完成しそうです。



## 1月11日(日) 寒い日は温泉

昔は、レジャーといえば温泉と相場が決まっていたようです。今でも根強い人気があります。特に寒い時期は、体から暖まる温泉は最高です。今日は、鏡野町にある瀬戸川温泉に家内と一緒に行きました。

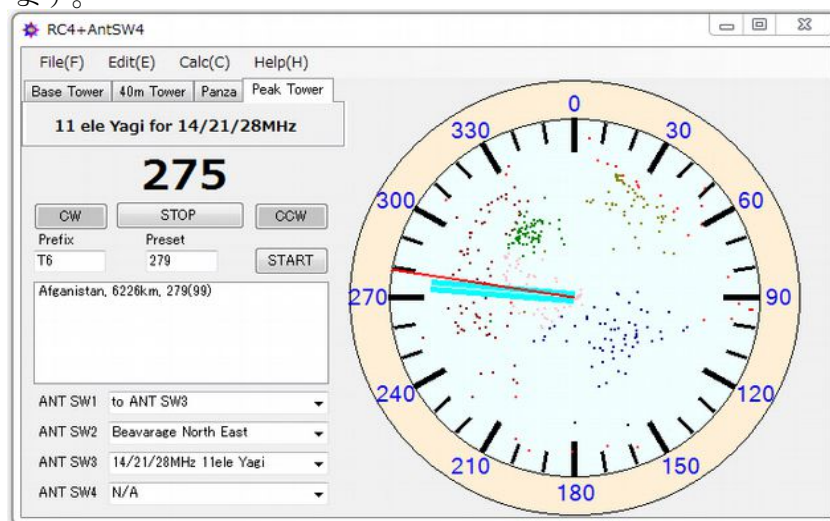
千代川に鮎釣りに行く途中で、何度か看板を見かけて、一度行ってみたいと思っていたのです。少しひなびた感じのする外観ですが、お湯は天然温泉で、浴室は広いし、露天風呂もサウナも水風呂のあります。都市部のスーパー銭湯のような混雑はなく、時間がゆっくり流れるのをしみじみと味わうことができました。なかなか良い感じの温泉でしたので、また行きたいと思いました。

温泉の帰りに院庄の焼肉店藤良で「ホルモンうどん」を食べました。初めて行ったお店でしたが、これまた良い感じの店でした。

お出かけついでに、帰りに道草して、まきばの館に行って、名物「ジャンボシュークリーム」をお土産に買って帰りました。



帰宅してから、アンテナスイッチ用リモコンの機能を昨年作ったローテータ用リモコンに組込んで統合しました。実際のアンテナスイッチには未だ繋ぎ込んでいませんが、手動で操作するよりも使い勝手が良さそうです。リグとアンプはバンド切替が自動的にできるようになっているので、バンドをあちこち飛び回っても大丈夫なのですが、時々間違ったアンテナで電波を発射して、リニアアンプの保護回路が働くことがあります。操作性が良くなれば、ケアレスミス回数が少しは減るかもしれないと期待しています。



## 1月12日(月) 初クルージング

寒い日が続いています。今朝起きると、薄っすらと雪化粧していました。家を8時頃出て、牛窓に向かいました。吉備中央町内の道路は凍結の心配をしながらゆっくりと走りました。途中、一回だけABSが効いたような気がします。

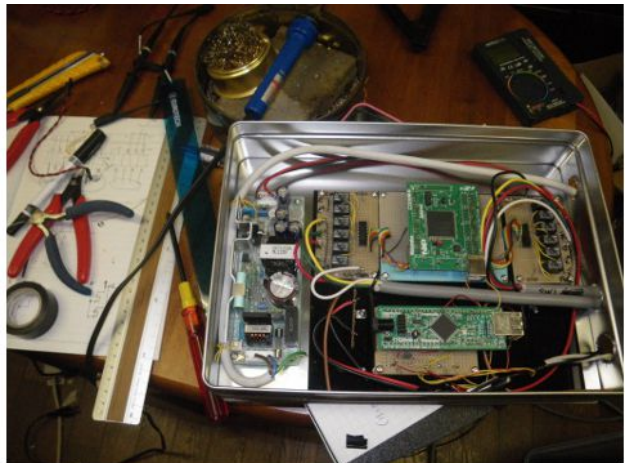
天気予報通り、晴れで北西の風7~10mの絶好のセーリング日和でした。今日はゲストがあったので、少し早めに引き返して、ヨットハーバー内でランチにしました



## 1月13日(火) アンテナスイッチ用リモコンのH/W製作中

天気予報では暖くなるということでしたが、今朝も寒い朝でした。ピロリ菌の呼気検査のために、飲まず喰わずのまま病院に行きました。検査結果は、来週の間診時に聞かせてもらえるようです。病院から帰って、薪ストーブを焚きつけて暖をとりました。

昼からは晴れ間が覗いていたので、ブドウ園に行って、柴刈りをしました。2時間程作業すると汗ばんできたので、燃やせるように少しだけ集めておきました。明日朝、風が弱ければ燃やせるように準備しました。



野良仕事から帰って、アンテナスイッチ用リモコンのハードウェアを製作しました。完成には至りませんでしたが、もう少しで完成予定です。結構、配線がごちゃごちゃしているので、安全に使用するために、ARMマイコンやColdFireマイコン基板などは、お菓子の入っていた金属製の箱に収めました。



## 1月14日(水) IC-7700が故障したかと思ったら・・・

今朝、1.8MHz/3.5MHz/7MHzを一通りチェックした後で、7MHzのJT65に出ようと思ってJT65-HFを起動して、いつものように受信した後で、送信状態に切替えたのですが、電波が出ませんでした。パソコンのオーディオ出力デバイスを間違えていないか何度もチェックしたのですが、それでも電波がでません。JT65は諦めて、7MHzのSSBで、T88RRが出ていたので呼んでみたのですが、同じように電波がでませんでした。CWやRTTYの場合には、パワー計が振れるので電波が出ているようです。実際、今朝もCWで5局とQSOしていたのです。仕方なく、予備機のTS850Sで呼んでみましたが、ローカル局が音が変わると教えてくれたので、呼ぶのをやめて朝飯にしました。

朝食の後で、ゆっくり原因を調べてみました。故障というよりも、設定が何かの拍子で誤ってしまったのではないかと思って、マニュアルを引っ張り出して、SETメニューで設定項目を一つずつ確認していきました。

その結果、やはり睨んだ通り、DATAモードOFF時の変調入力設定が"LAN"になっていたのが原因だと判明しました。この設定を"MIC, ACC"にすると、ちゃんと変調がかかりました。

DATAモードOFF時の変調入力設定	データモードOFF時の変調入力コネクターを選択します。
DATA OFF MOD                      MIC,ACC	● MIC:                      マイクコネクターを選択する ● ACC:                      ACCを選択する ● MIC,ACC:                  マイクコネクターとACCを選択する ● S/PDIF:                  光入力ジャックを選択する ● LAN:                      ETHERNETコネクターを選択する

おそらくリモートコントロールでIC-7700を利用した時に、変な終わり方をしたか何かで、この設定が変わってしまったのが原因だと考えられます。多分、リモートコントロールで使用する時には、DATAモードOFF時の変調入力設定を"LAN"にするのでしょう。DATAモードOFF時というのは、SSB, CW, RTTY/PSK, AM/FMのことを指すのでしょうが、CWやRTTY(FSK)の時には、オーディオ信号の変調は掛けないので、DATAモードOFF時の変調入力設定が"LAN"になっていても関係ないのでしょう。

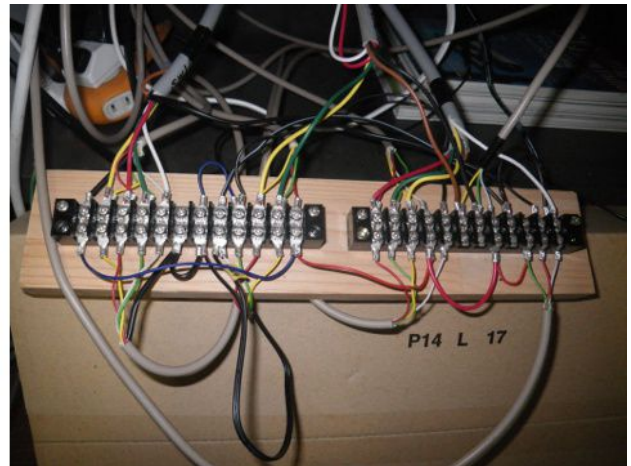
いずれにしても、リモートコントロールを使用すると、今回のようなことは今後も起こりうることだと考えられるので、良い訓練になったと思います。今月の後半にはEP6TやK1NなどのDXペディションを控えているので、その時になって慌てなくても良さそうです。

予備機のTS850Sの調子が今一だったので、調整しておく必要がありそうです。

## 1月15日(木) アンテナスイッチ&ローテータ用リモコンが完成

今日は朝から本降りの雨だったので、薪ストーブを焚いて、一日中無線小屋で過ごしました。先日から工作しているアンテナスイッチとローテータ用リモコンに、手動スイッチやアンテナスイッチボックスへの配線をつなぎ込みました。頭の中を整理するために、先に図面を書いて、間違えないように慎重に作業したので、ほぼ一日かかりました。





これで、LAN 経由でリグ (IC-7700) とローテータとアンテナスイッチが操作できるようになりました。もう一つ深く突っ込むとすれば、リニアアンプを遠隔操作できるようにしたいものです。

でも、コタツトップで遠隔操作(といっても主にワッチ)していると、パソコンを無線 LAN で接続しているためか、途中で途切れてしまうことが多々あります。受信だからいいようなものですが、送信中だったら問題ですねえ。有線 LAN だったら少しはマシになるかもしれませんが、今更家の中に LAN 配線をするのも躊躇します。なので、リニアアンプを遠隔操作する機能は、無くても良いかなあって感じです。

リニアアンプ (JRL-3000F) の操作パネルは、本体と分離することができるようになっていて、この間はシリアルでインターフェースされています。シリアルインターフェースを利用して、パソコンと本体を接続することが可能ではないかと思っていますが、プロトコルは非公開なので、リバースエンジニアリングする必要があります。結構、手間の掛かる作業なので、面倒でもあります。

## 1月16日(金) ピオーネの粗皮剥ぎ

昨日かなりの雨が降ったので、今朝はまだ地面が湿っていました。天気も曇りでしたので、午前中は無線小屋で薪ストーブを焚いて過ごしました。

午後から、気温も高くなったようなので、ぶどう園に行って、ブドウの樹の粗皮を剥ぐ作業をしました。今年で、4年目の若木なので、昨年までは粗皮剥ぎをしたことはなく、今年初体験です。幹の部分の皮を重点的に剥ぎました。こうしておく、害虫(コウモリガ) 予防のための薬を幹に塗る時に塗り易くなるでしょう。

午後から2時間程作業して、全体の約半分の作業を完了しました。



## 1月17日(土) JT65の運用における注意点

今日は雪がちらつく天気だったので、無線小屋に籠って薪ストーブにあたりながらアマチュア無線でJT65によるQSOを楽しんでいました。良く聴いていると、笛のようなJT65の音に混ざって、電話の音やパソコンの効果音らしきものが聞こえます。

多分、JT65で送信している局のバックグラウンド音(ノイズ?)をマイクで拾って同時に送信しているためだと思われます。JT65は一回の交信に時間がかかるので、何か他の事(例えば携帯電話で話しながらとか、パソコンでインターネットを見ながらとか...)をしながら交信するということが多くなるためでしょうね。

他人の振り見て我が振り直せとはこのことです。自分の設備でも同様のことが起き得ることに気づきました。JT65のアプリはJT65-HFを使っていて、パソコンのSP-outからIC-7700のACCに接続しています。モードはSSBに設定しているので、ACCとMICの両方の信号で変調がかかるように設定していました。

これは遺憾!ということで、JT-65を運用する時には、DATA1モードを使用することにして、DATA-1モードの変調入力をACCだけに設定しました。これで、JT65運用時に期せずしてMICからバックグラウンドノイズをBGMとして送信しなくて済むようになりました。

JT65だけでなく、MMvariでPSKを運用する時にも同じであることは言うまでもありません。

## 1月18日(日) 4バンドDXCC達成(^o^)/~~~

10月にDXCCを申請して、3ヶ月程経ちますが、過去のログを送ったり最近アクティブにオンエアした成果が出て、LoTWだけで10m/15m/20m/40mの4バンドでDXCC100エンティティーを達成しました。

80mは現在57エンティティーをコンファームしているので、5BandDXCC完成まで、あと43です。

Your Logbook DXCC Account (JH4ADK - JAPAN)					
Account Status					
DXCC Award	New LoTW QSLs	LoTW QSLs in Process	DXCC Credits Awarded	Total (All)	Total (Current)
Mixed *	5	0	205	210	209
CW	34	0	147	181	181
Phone	33	0	117	150	149
Digital	32	0	1	33	33
160M	12	0	3	15	15
80M	35	0	22	57	57
40M	52	0	49	101	101
30M	19	0	6	25	25
20M	41	0	72	113	113
17M	30	0	7	37	37
15M	28	0	105	133	133
12M	29	0	17	46	46
10M	36	0	79	115	114
6M	40	0	4	44	44
Challenge	322	0	363	---	685

昨日あたりからEP6T(イラン)のDXペディションが始まっています。今のところ、40mと15mのCWでQSOできました。週末は呼ぶ人も多くて中々難しいですが、明日からは少しは楽になるでしょう。



# 1月19日(月) 今日のDXハンティング

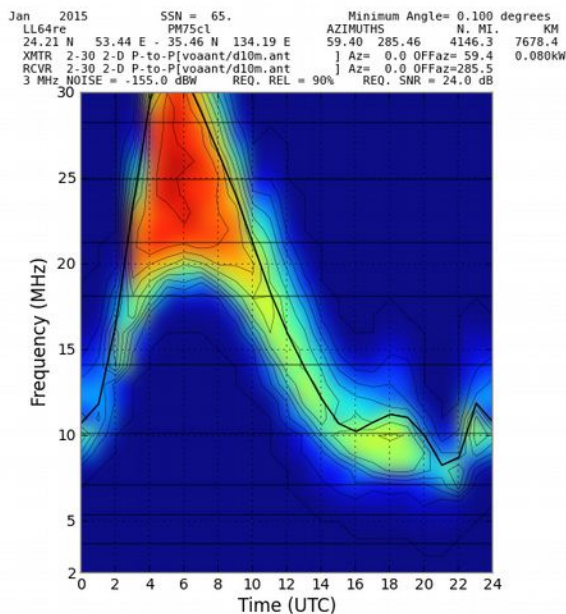
朝6時頃起きてシャックに行く。3.5MHzにQRVしているという情報があったので、聴いてみたが信号が弱い。7MHzでは昨日同様に強く入感していたが、QSO済みなのでパスした。そのうちに、1.8MHzで弱いながらもコールを確認できた。早速呼ぼうとしたら、アンプの保護回路が働いた。チューニングを取り直してみたがダメ。仕方なく、7MHzでC91RFなどとQSOして、朝飯にした。朝飯を終えてシャックに来てみると、3.5MHzで物凄く強く入感していた。だが暫く呼んでも応答がないし、ヨーロッパの局ばかりをピックアップしていた。それらのヨーロッパの信号は聞こえないし・・・他のJAを拾うようなら呼ぼうと思って暫くワッチしてみた。8時半頃まで強力に聞こえたが、その後徐々にフェードアウトした。あれは本物だったのだろうか？それともパイレート？

昼飯を終えて、1.8MHz用アンテナの様子を見に行ったら、案の定、アンテナワイヤーが40mタワーのステーに絡まっていた。アンテナの端を強く引っ張るとなんとかとれた。シャックに帰ってチューニングを取り直してみると、正常に動作することが確認できた。

午後は、2時頃からワッチを始めた。14MHzや24MHz、28MHzにも出ているという情報があるものの、ちっとも聞こえない。ショートパスかロングパスか判明しないので何度もアンテナを回してみたが、それでも聞こえない。

VOACAP onlineを使って、EPとJAの伝播予測をみると、20~30MHzで日本時間の午後3時頃が最も良いようだ。でも、今日は28MHzはだめだった。

Circuit Reliability (%)



de	dx	freq	obs	time
RQ0C	RQ0C/6	21070.8	CQ BPSK31 KR-12	0654z 19 Jan
Z56RJ	EP6T	21013	tu up 5	0654z 19 Jan
SP5DVD	EP6T	14183	up5 easy today	0653z 19 Jan
RW3GC	UA9UDX	28545	[LoTW] ]]]]]]] CO ((((((	0653z 19 Jan
LZ2DB	R7RLMM	14018		0653z 19 Jan
RQ7R	JA1CLW	21071.8	[LoTW] tnx QSO	0653z 19 Jan
US4EM	UA9UDX	28545	[LoTW] tnx QSO	0653z 19 Jan
UA0RN	LZ1MS	21024	[LoTW] cq asia	0652z 19 Jan
IZ5ILF	EP6T	14183	59 up tnx	0651z 19 Jan
SY1BCL	EP6T	21283	hello sv1dpl.73	0651z 19 Jan
RW9UB	EP6T	28493	Tnx QSO 73! Up10	0651z 19 Jan
LZ1KU	OH5RF	28503		0650z 19 Jan
JA1DDZ	E5SGP	21082	[LoTW] cq ry	0647z 19 Jan
JA7MBT	EP6T	21013	tks nw ja	0644z 19 Jan
IZ6CLZ	EP6T	14183	up 5-10	0643z 19 Jan

4時前になって、21MHzに出てきた。21MHzのCWではQSO済みだが、ショートパスとロングパスを聞き比べて、ショートパスだと判明した。信号も強い。ポーランドの局は14MHzで「今日は楽だ」と言っているが、こちらでは全然逆で、ちっとも聞こえないので呼ぶこともできない。仕方がないので、EP6TがQRVしているKish Is.は何処にあるのか調べてみた。イランのペルシャ湾のイランに近い島で、アブダビの真北に位置しているようだ。

今日はEPとの電波伝播はもう期待できないので、また明日のお楽しみだ。特に160mバンド用に26mのバーチカルアンテナと50本のラジアルを用意しているらしいので、強い電波が聞こえるだろう。





もう今日はEP6Tとのパスはないだろうと思って、ゆっくり夕食をとり風呂から上がってDXSCAPEを眺めてみると21MHzのRTTYにQRVしているとのこと。コタツトップパソコンでリモートワッチしてみると、強く入感していたのでシャックに行って、暫く呼んでQSO成功！14MHzや18MHzのSSBの周波数をチェックしてみると、何とかコールバックが聞こえそうなので、少し呼んでみたが徐々に弱くなったので、今日はこれにて閉店。

## 1月20日(火) C5X DX ペディション

イランへのDXペディション(EP6T)の影に隠れて地味な存在になっていますが、UKのグループがアフリカのガンビアから出ています。1月15日から26日までの予定で、コールはC5Xです。

昨日までに、17m, 20m, 30mでQSOできたので、40mでもQSOしたいと思ってたら、信号は弱かったのですが午後5時前にロングパスでQSOできました。

ガンビアの地図をまじまじと見るのは初めてですが、周囲をセネガルに囲まれていて、アフリカ大陸の中では一番小さい国だそうです。この辺りはエボラ熱が流行っているのでも、DXペディションに行くのも命がけですね。無線でQSOする分には大丈夫です。



今日は、ピロリ菌の除菌が成功したかどうかの検査結果を聞くために、病院に行きました。検査の結果は除菌成功とのことでした。これで、胃がんになるリスクは少し下がったことでしょう。

病院から帰って、ブドウ園隣地の山掃除のために出た柴を燃やして処分しました。朝食後、ビバレッジアンテナを北西方向に展開する作業をしました。時間的な問題があり、アンテナ切り替えスイッチは後日の課題として残し、既設の北米方向のビバレッジアンテナを切離して、代わりに今日張ったワイヤを接続しました。

明朝、EP6T が良く聞こえると良いなあ・・・今朝は 3.5MHz で呼びましたが QSO できずです。1.8MHz も聴きましたが、北米向けのビバレッジでは EP6T は弱くて呼ぶ気にすらなりませんでした。

## 1月21日(水) 平日の日中でも物凄いパイルアップ(EP6T)

今朝は 5 時半頃に目覚めたので、そのまま無線小屋に行きました。既に 160m で EP6T が QRV していて、JA 向けに QRX DOWN でサービスしてくれています。昨日張った北西向けのビバレッジは効果靚面で、QSB があるもののバッチリ聞き取れました。暫く呼びましたが、あちらのオペレータは受信に手間取っているようでしたので、先に可能性の高い 80m に QSY しました。

80m のパイルアップは物凄くて、かなり長時間呼んでやっと QSO できました。80m での貴重なニューカントリーゲットです。80m で QSO できた頃には、日出時刻を回っていて、160m の EP6T はかなり弱くなっていました。DXwatch を見ると C5X が 3.5MHz に QRV しているというので、ダイヤルを合わせてみると弱いながらも聞こえました。JA の局も拾っていましたが、大半は USA でした。時間的にアメリカ東海岸が日没、日本が日出、ガンビアが真夜中という状況です。暫く呼びましたが、QSO で仕舞いでフェードアウトしました。

その後、EP6T と 7MHz の SSB で QSO して、10MHz で暫く呼びましたが、信号は弱いし手に負えそうになかったので朝飯にしました。

朝飯の後で 10MHz を聞いてみると、未だ聞こえたので呼ぶと、すぐに応答がありました。これにて、残すは 14MHz, 24MHz と 18MHz と 1.8MHz の 4 つになりました。

昼間、ブドウ園で少し農作業をして、2 時頃には無線小屋に戻りました。既に 24MHz で QRV していました。JA を積極的に拾っていたので、チャンスです。しかし、平日の昼間だというのに、なんと呼ぶ局の多いことでしょうか!!! 物凄いパイルアップです。4 時頃まで呼びましたが、結局 QSO できませんでした。

明日は 1.8MHz を含め、未 QSO のバンドでバンドニューを獲得したいものです。(左下の画像は ClubLog での検索結果。右下の画像は自作のログソフト MyLog での検索結果。)

Log to search:	EP6T		
32,128 QSOs logged between 2015-01-16 15:05Z and 2015-01-21 08:57Z			
Callsign to check:	JH4ADK		
<b>Show contacts</b>			
Band	CW	Phone	Data
80	1		
40	1	1	
30	1		
15	1		1
10		1	

Date	Callsign	Freq	Mode
2015/01/17 22:24	EP6T	7012	CW
2015/01/18 9:52	EP6T	21012	CW
2015/01/19 11:24	EP6T	21082	RTTY
2015/01/20 7:18	EP6T	28488	SSB
2015/01/20 21:23	EP6T	3500	CW
2015/01/20 22:51	EP6T	7088	SSB
2015/01/20 23:28	EP6T	10122	CW

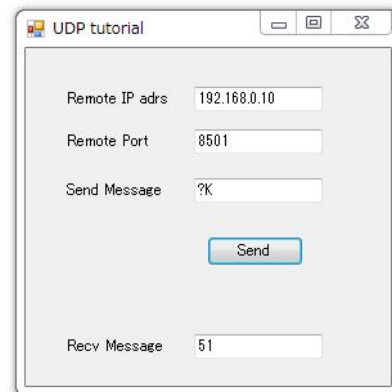
# 1月22日(木) PLCとUDP/IPで通信するプログラム

今日は雨降りだったので、無線小屋に籠って、PLCと通信するプログラムを作って遊びました。私の友人からキーエンス製のKV-3000という可愛いPLCを預かっています。パソコン側のプログラムはいつものVisualBasic2012Expressです。

とても簡単にプログラミングできて、UARTを使ったシリアル通信よりも余程簡単です。

アンテナスイッチ用リモコンのハードウェアは、雑誌のオマケを利用して苦勞して作りましたが、お金さえ払えば、綺麗にかつ簡単に希望のファンクションのものができるといことですね。自作品は世界中に一つしかないの、壊れた時には大変です。ハードウェアというのは、いつか壊れるので、自作すると設計資料が散逸したり忘れていたりして困ることがありますが、市販品だと滅多に壊れないし、壊れたら買えば良いので、保守の観点から見ると安心です。

そもそも自作とメーカー品とでは品質に大きな差があるので、比べる事自体ナンセンスかもしれません。自作は正に趣味の世界です。つまり、作ることを楽しむという遊びなのですから・・・



```
Imports System.Net
Imports System.Text.Encoding
```

```
Public Class Form1
```

```
Dim localPort As Integer = 2002
Dim enc As System.Text.Encoding = System.Text.Encoding.UTF8
'ローカルポート番号 localPort にバインドする
Dim udp As New System.Net.Sockets.UdpClient(localPort)
```

```
Private Sub btnSend_Click(sender As System.Object, e As System.EventArgs) Handles btnSend.Click
Dim sendbytes() As Byte = ASCII.GetBytes(tbSendMes.Text & vbCr)
Dim remoteIP As String = tbIP.Text
Dim remotePort As Integer = Integer.Parse(tbPort.Text)
```

```
Try
```

```
'データを送信する
udp.Send(sendbytes, sendbytes.Length, remoteIP, remotePort)
tbRecvMes.Text = "" 'clear receive message
```

```
'データを受信する
```

```
Dim remoteEP As System.Net.IPEndPoint = Nothing
Dim rcvBytes As Byte() = udp.Receive(remoteEP)
Dim rcvMsg As String = enc.GetString(rcvBytes)
tbRecvMes.Text = rcvMsg
```



```

Debug.Print("受信したデータ:{0}", rcvMsg)
Debug.Print("送信元アドレス:{0}/ポート番号:{1}", remoteEP.Address, remoteEP.Port)
Catch ex As Exception
Debug.Print(ex.Message)
tbRecvMes.Text = "ERROR"
End Try

End Sub

Private Sub Form1_Load(sender As System.Object, e As System.EventArgs) Handles MyBase.Load
udp.Client.ReceiveTimeout = 1000 '1000ms = 1sec
End Sub

Private Sub Form1_FormClosing(sender As System.Object, e As System.Windows.Forms.FormClosingEventArgs) Handles MyBase.FormClosing
udp.Close()
End Sub
End Class

```

## 1月24日(土) 今日から CQ WW 160m コンテスト

今朝も6時頃に起きてシャックに行きました。6時半頃からEP6Tが出てきてCQ DN5を連呼していましたが、ピックアップするのはEUが殆どでした。やはり受信性能にかなり問題がありそうです。そのうちに、CQ TESTを呼ぶ局が多くなり、何のコンテストが始まったのかと思って調べたところ、なんとCQ WW 160m コンテストが午前7時(JST)から始まっていたのでした。コンテストは月曜日の午前7時まで続くので、この間EP6Tは160mには出てこないかもしれません。

でもコンテストは160mでカントリー数を稼ぐチャンスです。先日張った欧州向けのビバレッジが早速役立ちました。良く聞こえるのですが、なかなか取ってもらえません。

EP6Tじゃないけど、聞こえないよりはマシです。コンテストなので、CQを出してみるというのも手ですが、狭いバンドなので今朝は遠慮しました。

昨日はビバレッジアンテナ(160mバンド受信用)の切り替えスイッチを設置しました。今日は、東南アジア方向に、ビバレッジを張りましたので、北米、欧州、東南アジアの3方向をカバーできるようになりました。準備もできたし、夕方から深夜に掛けてコンテストで遊べたら良いなあと思います。



## 1月25日(日) 自家製のピーナッツ

朝からブドウ園に行って、焚き火をしました。暖かい日だったので、焚き火の火と相まって暑くて汗をかきました。ブドウ園の隣地もかなり綺麗になりました。



夕方、昨年畑で栽培したピーナッツをオーブンで焼きました。今回で3回目のチャレンジです。最初はインターネットで見つけたレシピ(170°Cで23分)でやったら、かなり焦げてしまいました。2度目は170°Cで20分でやりましたが、これでも焼き過ぎの感じでしたので、今日は160°C17分でやってみました。すると、丁度いい感じの焼き加減でした。

自家製のピーナッツといっても、市販品とあまり変わらない程度に仕上がりました。今年はもう少し量を多く栽培してみようと思います。

## 1月26日(月) CQ WW 160m コンテストを終えて

今朝7時でCQ WW 160m コンテストが終了しました。やっと21局とQSOできたのみです。いくつかのニューも含まれているので、それはそれで良かったのですが、私の今の設備では電波が飛ばない(届かない)ということが良くわかりました。これが最大の成果です。

ロシアあたりの局でさえ、応答がない・・・でも他のJA局には応答がある・・・なんてことが何度もあったので、余程、彼の地では私の電波が弱いらしいのです。HV0A(バチカン市国)もQRVしていて大パイルアップになっていましたが、呼んでも無駄だということが判ったので、程々にして他の獲物を探しました。相手の耳がよければ拾ってもらえることも判りましたが、まだまだ当方側に改善の余地がありそうです。

QROするのも手ですが、法令違反までするのはどうかと思うし、インターフェアレンスの危険性も高まります。やはり順当なのはアンテナの性能アップですね。今のアンテナは、マッチングだけは取れていて、そこそこ飛ぶので無いよりはマシなのですが・・・

3.5MHzで期待以上の成果を上げているダブルバズーカを試してみたいと思います。エレメントの形状が変わるだけなので、建設も楽ですから・・・

Generated on 2015/01/25 23:18:17Z for JH4ADK

<adif\_ver:5>3.0.4

<programid:7>MyLog1

<EOH>

<call:4>UW2M<band:4>160m<mode:2>CW<freq:5>1.816<qso\_date:8>20150123<time\_on:4>2153<rst\_sent:3>599<rst\_rcvd:3>599<eor>  
<call:5>RW0MM<band:4>160m<mode:2>CW<freq:5>1.811<qso\_date:8>20150123<time\_on:4>2214<rst\_sent:3>599<rst\_rcvd:3>599<eor>  
<call:5>RA0FF<band:4>160m<mode:2>CW<freq:5>1.820<qso\_date:8>20150123<time\_on:4>2233<rst\_sent:3>599<rst\_rcvd:3>599<eor>  
<call:6>DS3HWS<band:4>160m<mode:2>CW<freq:5>1.819<qso\_date:8>20150123<time\_on:4>2237<rst\_sent:3>599<rst\_rcvd:3>599<eor>  
<call:4>N7AT<band:4>160m<mode:2>CW<freq:5>1.811<qso\_date:8>20150124<time\_on:4>0853<rst\_sent:3>599<rst\_rcvd:3>599<eor>  
<call:4>RT0F<band:4>160m<mode:2>CW<freq:5>1.814<qso\_date:8>20150124<time\_on:4>0906<rst\_sent:3>599<rst\_rcvd:3>599<eor>  
<call:4>N7DD<band:4>160m<mode:2>CW<freq:5>1.821<qso\_date:8>20150124<time\_on:4>1044<rst\_sent:3>599<rst\_rcvd:3>599<eor>  
<call:5>AC6DD<band:4>160m<mode:2>CW<freq:5>1.818<qso\_date:8>20150124<time\_on:4>1051<rst\_sent:3>599<rst\_rcvd:3>599<eor>  
<call:5>BA2BI<band:4>160m<mode:2>CW<freq:5>1.822<qso\_date:8>20150124<time\_on:4>1153<rst\_sent:3>599<rst\_rcvd:3>599<eor>  
<call:4>K7CA<band:4>160m<mode:2>CW<freq:5>1.824<qso\_date:8>20150124<time\_on:4>1204<rst\_sent:3>599<rst\_rcvd:3>599<eor>  
<call:4>HS0ZIA<band:4>160m<mode:2>CW<freq:5>1.813<qso\_date:8>20150124<time\_on:4>2017<rst\_sent:3>599<rst\_rcvd:3>599<eor>  
<call:4>R7AB<band:4>160m<mode:2>CW<freq:5>1.815<qso\_date:8>20150124<time\_on:4>2021<rst\_sent:3>599<rst\_rcvd:3>599<eor>  
<call:5>RK4FD<band:4>160m<mode:2>CW<freq:5>1.820<qso\_date:8>20150124<time\_on:4>2026<rst\_sent:3>599<rst\_rcvd:3>599<eor>  
<call:5>HG8DX<band:4>160m<mode:2>CW<freq:5>1.823<qso\_date:8>20150124<time\_on:4>2033<rst\_sent:3>599<rst\_rcvd:3>599<eor>  
<call:4>RY9C<band:4>160m<mode:2>CW<freq:5>1.814<qso\_date:8>20150124<time\_on:4>2111<rst\_sent:3>599<rst\_rcvd:3>599<eor>  
<call:5>BD5XX<band:4>160m<mode:2>CW<freq:5>1.810<qso\_date:8>20150124<time\_on:4>2201<rst\_sent:3>599<rst\_rcvd:3>599<eor>  
<call:5>XW4ZW<band:4>160m<mode:2>CW<freq:5>1.815<qso\_date:8>20150124<time\_on:4>2209<rst\_sent:3>599<rst\_rcvd:3>599<eor>  
<call:4>RM4F<band:4>160m<mode:2>CW<freq:5>1.816<qso\_date:8>20150124<time\_on:4>2210<rst\_sent:3>599<rst\_rcvd:3>599<eor>  
<call:4>RJ4P<band:4>160m<mode:2>CW<freq:5>1.824<qso\_date:8>20150124<time\_on:4>2217<rst\_sent:3>599<rst\_rcvd:3>599<eor>  
<call:6>VR2XAN<band:4>160m<mode:2>CW<freq:5>1.820<qso\_date:8>20150124<time\_on:4>2224<rst\_sent:3>599<rst\_rcvd:3>599<eor>  
<call:5>BA7IO<band:4>160m<mode:2>CW<freq:5>1.817<qso\_date:8>20150125<time\_on:4>1051<rst\_sent:3>599<rst\_rcvd:3>599<eor>

## 1月27日(火) JRL-3000Fをリバーエンジニアリング

ローテータやアンテナスイッチおよびトランシーバを遠隔操作できるようになったので、今度はリニアアンプを遠隔操作できるようにしたいと思っています。

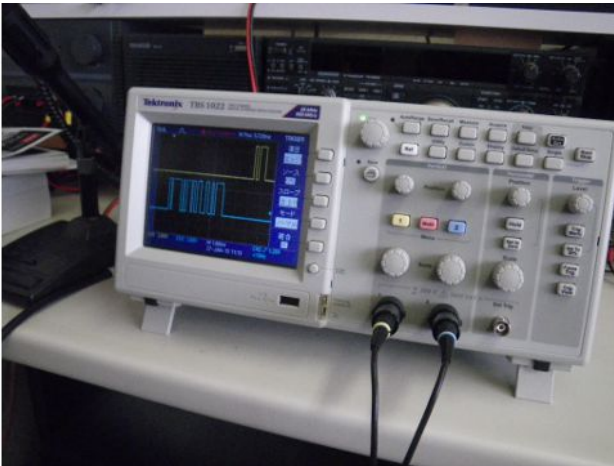
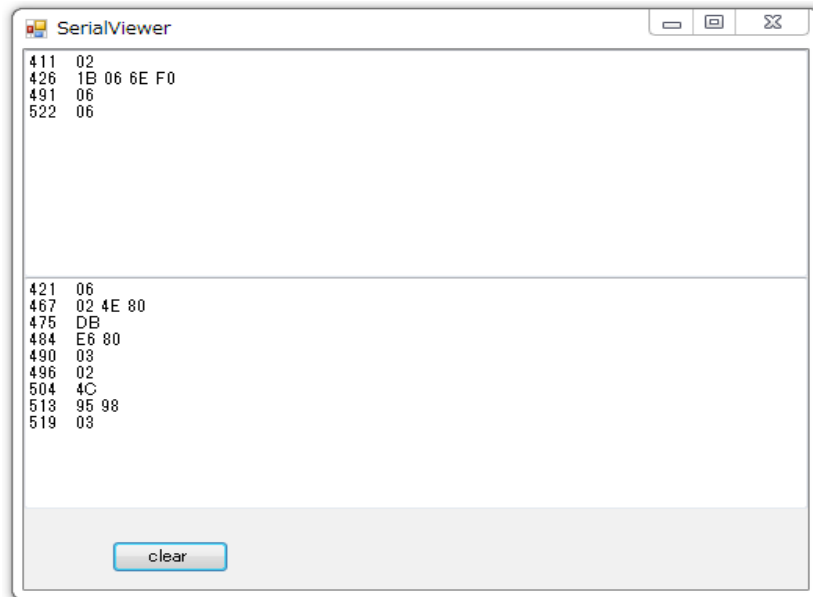
私は主にJRC製のJRL-3000Fを使っています。回路図を見ると、操作パネルと本体の間はシリアルインタフェースで接続されているようなので、操作パネルとのやりとり(プロトコル)を模擬すれば実現できると思います。

しかし、このプロトコルは公開されていないようなので、自分で調べることにしました。まずは、ボーレートですが、デジタルオシロを繋いで波形観測した結果から9600bspだと判りました。

操作パネルとのインタフェース用コネクタのTxDとRxD信号は、5V電源の74AC04でドライブされています。この2つの信号をUSBシリアルポート(COM12)とパソコン本体のCOM1と2つのシリアルポートを使い、COM12のRxDとCOM1のRxDに接続するインターフェース回路を俄仕立てで作りました。更に、やり取りされているデータを見るためのアプリを作りました。

次の画像は、操作パネルのPowerボタンを押して、本体の電源をONにしたときのデータのやり取りを示しています。上半分が操作パネル側から送ったデータを、下半分が本体から送られるデータを示しています。各行の左端の3桁の数値はミリ秒単位の時刻を示しています。たった1つのボタンを押したただけなのに、何度もデータのやり取りしており、何やら手の込んだことをしているようなので、解読には少し時間がかかりそうです。



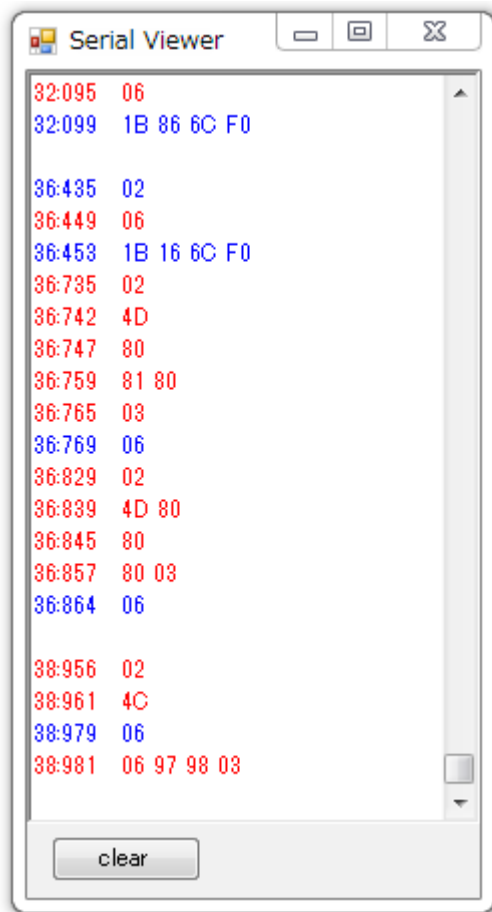


## 1月28日(水) Serial Viewerの改良

今日は、昨日作成したシリアル通信のデータを見るソフト「Serial Viewer」を改良しました。ウィンドウを一つにして、データの流れる方向ごとに色分け表示しました。こうすることで、AとBとが通信している時に、「Aが何を送るとBが何を返すのか」ということが一目で判ります。左端の数値は、時刻を示していて、秒とミリ秒を意味しています。

それにしても、JRL-3000Fのプロトコルはややこしいです。操作ボタンを押さなくても、送信状態にした時や、無線機と周波数トラッキングするようにしているので、無線機のダイヤルを回した時にも本体側からデータが送られてきます。送信している時は、2つのメータを振らせるためのデータが含まれていると考えられます。

02はSTX,03はETX,06はACKとしての意味を持っているようです。一寸したパズルです。



## 1月29日(木) QSLカードを整理してみたら・・・

10年以上前から、「いつかやろう・・・」と思っていたQSLカードの整理をしました。きっかけは、LoTWでのコンファーム数が200を越えて、そろそろ頭打ちになってきたので、過去にコンファームしたQSLカードを足すとどうなるのか知りたくなったからです。

1980年代の後半から2000年頃迄、DXハンティングに血道を入れていて、一生懸命QSLカードを集めていたのですが、その頃はDXCCの申請をしておらず、カードの整理ができて無かったので、次第にDXハンティングの熱も冷めてしまったのでした。

整理と言っても、カードは既にコールサインのアルファベット順に並べた状態で箱に入っていたので、LoTWで未コンファームのものだけを抜き取るという作業です。ついでに、バンド別にコンファーム状況を記したリストを作成しました。

DXCCの現存カントリー数は340なので、331コンファームでオーナーロール入りです。オーナーロール入りを目指すためにも、ちゃんとWanted Listを作って計画的にDXハンティングをしようと思って、カードの整理をしました。

すると・・・何と驚くことに、残り9エンティティーに達しているようなのです。つまり、知らないうちに既にオーナーロールの申請が可能な状態になっているみたいなのです。昔、DXハンティングに夢中だった頃は、オーナーロールなんて何時になったら成れるんだろうかと思っていたのに、まさか・・・嘘でしょう？！

一日がかりで、整理したのですが、糠喜びにはなりません。もう少し時間を掛けて丁寧にチェックしたいと思います。



## 1月30日(金) 5BAND DXCC & HONOR ROLL

今朝は雪が積もっていました。寒くなりそうだったので、コタツにあたりながら昨日から始めた QSL カードの整理をしました。

そんなことをしていると日が暮れてしまいましたが、それなりの成果は出ました。なんと、既にオーナーロールを申請できる程コンファームできていることが判明しました。現存エンティティの内、次の 8 エンティティのみが未コンファームです。

103	E4	Palestine (1999)
128	FJ,TO	Saint Barthelemy (2007)
69	KH8	Swains I. (2006)
127	PJ5,6	Saba & St. Eustatius (2010)
131	PJ7	St Maarten (2010)
176	EK(*)	Armenia
35	VK9(*)	Willis I.
45	VP6	Ducie I. (2001)

これらの内(\*)印を付けた 2 エンティティは QSO 済です。QSL カードの請求をさぼっていたので、コンファームできていないのだと思います。左端の数字は、CLUBLOG の DXCC Most Wanted List の順位です。私の Wanted はあまり人気のないものばかりです。(つまり雑魚ということ)右端の括弧内の数字は、そのエンティティが BrandNew になった年を示しています。E4 はともかく、それ以外は私が QRT している時に BrandNew になったものばかりですので、取りこぼしても仕方ありません。

ついでに、80m バンドでのコンファーム数を調べてみたところ、LoTW でコンファームできているものを合わせると 102 エンティティに達していることがわかりました。既に、40m, 20m, 15m, 10m の各バンドについては LoTW だけで、それぞれ 100 エンティティ以上をコンファームできているので、5BAND DXCC も申請可能な状態になっていることが判りました。雪のチラつく寒い日でしたが、私にとってはとても熱いエキサイティングな日でした。



HONOR ROLL になって、No.1(全エンティティーコンファーム)をゲットすると、目標失うためか、急にアクティビティーが下がる DXer が多いように思います。

私はそうならないように、次は、WARC 3BANDと160m、6mを含めた10 BAND DXCCを目標にして遊ぼうと思います。



## 1月31日(土) DXCC 消滅カントリーリスト

これまで消滅カントリーリストには興味がなかったのですが、HONOR ROLL が見えてきたので、消滅カントリーを含めると何カントリーコンファームできているのだろうかというような観点で、消滅カントリーリストを見ると驚きの発見がありました。長い間 QRT していると浦島太郎状態です。

発見と言っても私にとっての発見であり、その道を極めた方々には至極当然の事なのかもしれません。その発見というのは、カリブ海のオランダ領の島々が2つ消滅カントリーになっていることです。消滅カントリーになったのは2010年9月9日です。理由は行政的な取り扱いが変わったということのようで、クーデターなどの政変があったわけではありません。

PJ2,4,9(Bonaire, Curacao)とPJ5-9(St. Maarten, Saba, St. Eustatius)は、いずれも消滅カントリーになり、代わりに次の4つのカントリーが新設されました。

PJ2	Curacau
PJ4	Bonaire
PJ5,6	Saba, Sint Estatius
PJ7	Sint Maarten

何でこうなったのか理解しがたいものがあります。ユーゴスラビア(YT-YU)は内戦を経てセルビア(YT-YU)、クロアチア(9A)、スロベニア(S5)、ボスニア・ヘルツェゴビナ(E7)、モンテネグロ(40)、マケドニア(Z3)の6つの国に分裂したのですが、ユーゴスラビアは消滅カントリーにはなりません。まあルールなので、外野でとやかく言っても仕方ありません。横綱だって審判の判断に文句を付けると、品格を疑われるのですから・・・

改めて LoTW の QSL リストを見ると、PJ2 と PJ4 は新しくなったカントリーが既にコンファームできていましたが、PJ5,6 と PJ7 は、未だ QSO すらできてません。PJ2 や PJ4 のアクティビティーは比較的高く、PJ5, 6 や PJ7 はそうでもないということでもあります。

実は PJ7 には行ったことがあるのです。PJ7 からはオンエアしませんでした。同じ島の半分はフランスの海外領土(FS: Saint Martin)から FS/JH4ADK として、1991年4月29日から5月3日の間電波を出しました。

最後に、この島が残るなんて因縁を感じます。もう一度行ってみたいです。

